

横浜環状北線

施設管理者（事業者）：首都高速道路株式会社

施設所在地：神奈川県横浜市都筑区川向町～鶴見区生麦二丁目

調査見学時期：平成 23 年 9 月 13 日

施設概要

横浜環状北線（以下、「北線」といいます。）は、横浜市の交通ネットワークの骨格を形成する「横浜環状道路」の北側区間、第三京浜道路「港北インターチェンジ」から首都高速横羽線「生麦ジャンクション」をつなぐ延長約 8.2km の自動車専用道路です。現在は、平成 28 年度の開通に向けほぼ全線で工事を進めています。（図・1）

北線の開通により、横羽線・湾岸線と第三京浜道路がつながることによって広域的な交通利便性の向上、横浜港などの臨海部と内陸部の連絡強化等による各拠点の活性化、生活道路へ入り込む通過交通の減少等による生活環境の改善などが期待されています。

北線は、路線の大半が住宅地のため、家屋の移転を少なくし、周辺環境を保全するために、路線延長約 8.2km の約 7 割（約 5.9km）をトンネル構造にしています。さらに、地域への工事の影響を最小限に抑えるため、トンネル区間の大部分にあたる約 5.5km の長距離をシールド工法により建設しています。シールドトンネル工事では、生麦方面行きと港北方面行きの 2 本のトンネルを、高い掘削性能を備えた 2 機のシールドマシンが新横浜の発進立坑から子安台の到達立坑に向けて並行して掘進しています。（写真・1）このシールドマシンの愛称は、公募により「ナッピー号（生麦方向）」、「コピー号（港北方向）」と名付けられているそうです。

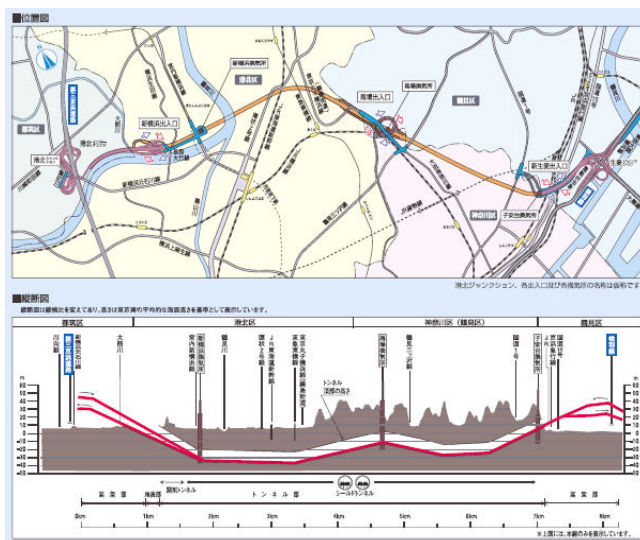


図-1 横浜環状北線の位置図と縦断図

（出典：首都高速道路株式会社 横浜環状北線 HP）



写真-1 トンネル施工状況

（写真撮影：平成 23 年 9 月 13 日）